

モビリティ・ソリューション賞

松戸市グリーンスローモビリティ地域推進事業

松戸市



松戸市（本郷谷健次市長）は、「地域の高齢者が主役となる地域を支える新たな「ミニユニケーションツール」として、グリーンスローモビリティ（グリースロ）地域推進事業を展開している。地域の互助により、高齢者の社会参加を促進、健康寿命を伸ばし、地域コミュニケーションを活性化。公共交通では行き届かない地域内の移動や公共交通を補完し、地域内を安全に移動できる手段の確保策としてグリースロを活用する。

取り組み開始のきっかけは、2016年度から実施した松戸市と千葉大学予防医学センターの「介護予防に資する活動等に関する共同研究」の協定を締結したこと。共同研究の調査により、健康指標や社会参加率に関して地域間格差があることが分かった。その後、重点実地調査などにより地域の実態を把握した。19年に国土交通省、21年には千葉大学予防医学センターとヤマハ発動機が主導する実証調査により、非利用者と比較して、グリースロ利用者は外出機会や日常行動範囲が1・7～1・9倍となったことが分かったという。さらに、家族などと話す機会や、地域活動への参加などが2・8～5・2倍に拡大し、楽しみや生きがいが生まれるなどの心的改善効果が2・1～2・6倍に増加したという結果が示されたことから事業化した。

ポイントは①道
路運送法による登



高齢者が主役の地域振興活動

【受賞者コメント】
この度は、松戸市グリーンスローモビリティ地域推進事業が「モビリティ・ソリューション賞」をいただき大変光栄に存じております。松戸市のグリースロ事業は、高齢者の社会参加を念頭に、地域住民が主体となって運営しており、運営メンバーの創意工夫、精力的な活動で地域内の小さな移動が表現されています。松戸市として、地域へ謝意を示すとともに、引き続き地域と一緒にグリースロ事業を推進していく所存です。

この度は、松戸市グリーンスローモビリティ地域推進事業が「モビリティ・ソリューション賞」をいただき大変光栄に存じております。松戸市のグリースロ事業は、高齢者の社会参加を念頭に、地域住民が主体となって運営しており、運営メンバーの創意工夫、精力的な活動で地域内の小さな移動が表現されています。松戸市として、地域へ謝意を示すとともに、引き続き地域と一緒にグリースロ事業を推進していく所存です。